

〈解答〉

- ① 1 ① せけん ② 探 ③ はら ④ 理屈
 2 不敵
 3 ウ
 4 ア・エ・オ (完答)
 5 至高 ↓ 思考 (完答)
 6 サ行変格活用、未然形 (完答)

配点 ① 4 は 2 点、他は各 1 点 10 点満点

〈解説〉

- ① 「世間」とは「世の中」のこと。
 ② 「探」の音読みは、「タン」であり、「探求(さがし求めること)」「探測(気象・天体などの様子を機器を使って観測すること)」「などの熟語がある。
 ③ 「払」の音読みは、「フツ」であり、「払拭(すっかり取り除くこと)」「などの熟語がある。
 ④ 「理屈」には「物事の筋道や道理」という意味の他、「無理につじつまを合わせた論理」という意味もある。
- 2 「戦々恐々」の対義語には「大胆不敵」以外にも「泰然自若(ゆったりと落ち着いていて平常と変わらない様子)」がある。
- 3 それぞれの漢字を楷書で書くと、ア「除」、イ「牧」、ウ「級」、エ「板」、オ「移」となり、アは十画、イとエは八画、ウは九画、オは十一画とわかる。「送」は九画なので、画数が同じものはウ「級」である。
- 4 イ「重要な」は、言い切りの形(くだ)に変えても「重要だ」となり意味が通るので、連体詞ではなく形容動詞である。ウ「ない」は「思えない」を「思えぬ」としても意味が通るので、形容詞ではなく「打ち消しの助動詞」である。
- 5 六行目「意思や至高を伝え」の「至高」が誤りである。「や」という並列助詞があることから、「意思」と似たような意味を持つ「思考」が適当だとわかる。
- 6 「理解し」の後にある、意志の助動詞「よう」は、五段活用以外の動詞の未然形に接続するため、「理解し」はサ行変格活用の動詞「理解する」の未然形である。